

九浦の家づくり

●NO. 104 2014 06 30

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

東町の人

きょうかい

大窪教海さん

先生も生徒も楽しくて、
21年五百回無休の囲碁教室



吉祥寺東コミュニティセンターの「初級囲碁教室(毎月第2/第4木曜午後)」が、この三月で五百回になりました。卒寿を迎える大窪教海先生は、長年小・中学校で教え、校長を務めて退職後、21年前九浦の運営委員になると、志願して初級囲碁教室を始めました。以来21年間一度も休まず、毎回32〜34名の老若男女と言いたいけれど、年配の生徒さんたちに、囲碁の基礎から丁寧に教えてこられました。

初心者向け教室が珍しかったのに加え、よほど居心地がいらしく卒業せずに通い続ける方が多いのです。聴講生も高齢となり、病気や入院する方も出てきました。が、病院から宿題の詰め暮や次の一手を郵送して来て添削して貰う人もいます。採点添削毎回30名分。これが大変。

九浦の家の歓送迎会で「こはお酒を無理強いされない。こんな有難いことはないですよ」と言われました。大酒が祟り胃の手術後医者に酒を取るか命を取るかわかれて辞めた酒。井に捨てたりタオルに吸わせたり苦労したそうです。私たちもコミュニティの付き合い方の大事なことのひとつに気付かされました。

穏やかでひょうひょうとしていながら、いろいろ熱心に挑戦される方で、競技カルタも市の大会で優勝する腕前(さすがに近

年は、体がついていかない)。俳句に至っては、毎年三六全国俳句大会に入選。郷里山梨のコンクールで優勝した句「故郷を語りて葡萄を配りけり」が、その年の甲州ワインのラベルになったこともあり。奥様ともども短歌も詠まれ、私歌集にまとめられました。長く吉祥寺ナーシングの「俳句クラブ」で指導されていますが、これもボランティア。

教えてやるという姿勢が微塵もなく、五百回無休でも気負ったり無理している風もなく、いつも楽しい先生は、運営委員仲間にも地域の方にも敬意を持って親しまれ、自分の出来るやりたい事を、責任持って続けられ、「こういうのいいなあ」という思いで、後に続く人がでできます。

驚きはもう一つ。戦後高井戸第二小に赴任し、校歌と応援歌をつくり拍手も教えて以来の習わしだそうで、九浦の家のお祝いの会の終わりは、大窪先生の「オールメン 拍手!」。ネクタイを鉢巻に、台上で三・三・七拍子の音頭をとられます。

大泉師範在学中に応召、特別幹部候補生予備士官学校で終戦となり、「新しい教育」を一カ月で叩きこまれて教職に就き、その後法政大学高等師範学校、法政大文学部、同大学院修士課程へ。昼間教員夜生徒を七年間。卒論は「親鸞経」。小学校5年、中学校25年、内校長教頭10年。定年後に国学院大久我山高校講師も。

四月10日、生徒さんたちが五百回記念お祝いと感謝の会を催しました。勿論「はオールメン拍手!」

三六全国大会入選放送された句のひとつ「日永とは言えず祝辞の長き事(2009年) 鉄兜ほしやにわか玉あられ(今年の変

予告

- ◇アジアを知ろう台湾七月5日14時「緊迫する日本・台湾・中国」野島剛氏
- ◇第8回外環問題協議会総会 七月12日19時 南町コミセン
- ◇「外環本線の都市計画事業の承認・認可に係る事業者からの説明の会」七月15日19時 南町コミセン

◇19回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」八月21日19時 武蔵野公会堂

◇七月つどい 七月31日14時 東町の昭和史二丁目西部大窪教海さん

◇八月つどい 八月28日14時 東町の住宅事情 地元建設会社

◇九浦の家の虫探し 八月1日10時 指導 虫おじさん小峰光弘さん

◇「シルクロードに魅せられて」 お話 加藤九祚さん 八月16日 本宿コミセンホール

九浦・本宿・ミ・銀座会共同企画

◇本宿盆踊り 八月23・24両日

◇アジアを知ろう台湾番外編映画会「台湾アイデンティティ」 九月7日

な天気、これもかつて放送された句)昭和24年に24歳で、教え子の縁で二丁目の畑ばかりの所に家を建てて今に至る。お婿さんは2001年12月、八王子の浅川の河原で新種の古代象ハチオウジンウ(290〜210万年前に生息)の臼歯と18mの牙2本、大腿骨等を発掘した相場博明さん(九浦だよりNO.63東町の人)。九浦でこの象の話をとねがいがいしながら、まだ実現していません。

巣立つ寸前のヒナ。
巣からあふれそう

街づくりができるのは、そこ

水槽本体が予定の位置まで沈下。その後は地上部の諸機械室や下水本管からの取り込み管を敷設、本体上部を埋め戻して公園整備にかかります。

四月からの地面の引き込まれは鋼矢板の打込みとローラーガイドによる支保で水平方向は1m以内に収まっています。沈下は一部に2mの記録もあり、近接住民の不安は解消されません。工事連絡会は、工事開始前にかわした工事協定書に、一年でなくもつと後までの不具合時への対応を保障する文言の追記を求め交渉中です。

市は25年度末工事完了予定の遅延、土・日・休日の工事や工事時間の延長等の迷惑につき、お詫びと十月末の工事完了予定を近隣にポステイングしました。

上部の公園名は「吉祥寺東町ふれあい公園」に決定。2500m²東部地域で最大の公園です。法政プール跡地は「東町一丁目そよ風緑地」と決まりました。

基本プランは合意済みですが、近隣から、美大通りの出入り口は、この通りの西側には歩道がなくガードレール設置も無理。車が女子大通り信号を見てスピードを出しがちな位置にあり、危険なため見直すよう意見書が出されました。

四月12日開園した本田東公園(旧ポンプ場公園)はネットで囲んだボール遊び用コート付きで、2439m²。

外環道路問題これから本番

四月17日の第18回「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」

で、練馬で道路幅の異なる3案が示され、後日「練馬の地上部は22m幅にする」との都の発表があった旨伝えられました。武蔵野市は武蔵野市で考えているといいますが予断が許されません。

この話し合いの会で、先送りになっていた浜本構成員の主張に対する他の構成員の意見表明があり、本線と地上部は一体であるという主張に賛同と、それとは違うが地上部計画には反対の意見があり、市民構成員全てが地上部街路反対の表明をしました。次回八月21日から、都の言う地上部道路の「必要性」の議論に入る予定。

三月28日、外環本線の大深度による都市計画事業が認可されました。四月24日に、本宿小体育館であった説明会は、知らなかった人や理解できなかったという人もいたので、市を通して国(市民への説明会を強く要望した結果、「外環の都市計画事業の承認・認可に係る事業者からの説明の会」が七月15日19時から南町コミュニティセンターで、武蔵野市主催で行われます。外環計画地周辺幅10m内の家屋に対して、家屋調査が行われることになっています。

東部防災会総会

正しい知識で適切に備えよ

五月17日、むさしの東部防災会の総会が本宿「ミニテイセンター」ホールで行われました。梶秀樹筑波大名誉教授の講演「大規模地震に備える」で、①地震は数年以内に必ず来ると

覚悟する。その根拠を知る。

②発生したら、ここでのような現象が起こるか、正しいイメージを持って。発災直後は情報が入ってこない。

③想定被害に武蔵野市がどのように備えているか、何はしてくれないか知っておく。個人としては家具固定・耐震化・出火防止に適切にそなえる。

④その上で共助体制(自主防災や避難所運営など)の役割を分担する。

市の第五期長期計画調整計画策定委員会の討議の参考にするため十名の公募市民による市民会議が行われています。吉祥寺東町の川原秀子・樋口稔・吉田眞實の三氏が公募委員として参加しています。

エリアの学校の先生方の異動

三中 保健体育の屋部雅朋先生ご退職。技術の米山純雄、国語の滝沢祐一、数学の田中健児、大瀧甲栄、外国語の松尾由木、瓜生修仁の諸先生が転出され、かわって保健体育品川高浩、国語の丸山和博、数学の末富俊樹(御蔵島から)、近藤史(新規)、技術の遠山謙蔵(新規)の諸先生ご赴任。

本宿小 押本純樹副校長が東村山第二小へ転出。北野美奈子先生ご退職。坂井由利子副校長ご赴任。育休代替教員として薊裕也先生。

第四小 落合大輔、宮本卓哉、田中百恵、上津原尚美の諸先生ご転出。土肥明美先生ご退職。秋間正明、藤村由佳、寺石麻佑、渡邊悟司の諸先生方が赴任されました。

二月1日オープンです。

◎教会北西向かいにたくちやん総合治療院五月20日開院
◎五月25日日本宿小運動会は大晴天。散水で埃を沈めながらの熱戦でした。色とりどりのミッキー手袋 Glet's show Timeは、1年生と2年生の成長を示して余りありません。後片付けに、手が空いている人は本部へとアナウンスが流れると、上級生が走ってきます。保護者の方も呼びかけにも大勢が応じました。地域でも万一の時はこの方法に期待しましょう！

◎五月20日第四小学校公開。24日道徳授業公開。本宿小六月13・14日学校公開。14日には地域と合同の突然避難訓練。発災ベルで児童はすぐ机の下に。来ていた幼児がさつとホルルの机の下にもぐりこみました。構えが身につけている。防災会は備蓄倉庫を点検。13日には不審者のセーフティ教室。

◎三月中で六月20日「グータイ安心安全講座」
◎五月末で閉館のハウスシアター、六月25日夕方、取り外した映写機器を階段で下し、車に積み込み中。いよいよ解体へ。

東町事故事件 (四月〜六月末)
人身事故 車×車1、車×自転車1、車とバイク1 自転車×バイク1 2件女子大通り、1件五日市街道)

◇五月9日夜10時駐在前で停止中の自転車に車が接触。自転車が倒れ頭に裂傷。

物件事故 車×車14 車×自転車3 車×物5 バイク×車2 バイク×自転車1

◇四月18日教会前、停車中の車に自転車衝突。当て逃げで警察が情報を求める看板。

東町の事件 0件
東町の火災 1件



学校公開についてきていた幼稚園や保育園児も、さつとホルルのテーブルの下に。親より素早い。



街づくりに関心高い九浦の家がキャッチした三浦展さん（東町在住）の近著「東京は郊外から消えて行く」… 総会の日に聞きました。

「これからの吉祥寺の街づくり」

1988年から26年間、子育てに良い便利な街と思って吉祥寺に住んで来た。何で「住みたい街NO.1」なのかの分析が「吉祥寺スタイル」でした。

最近、吉祥寺の今後を、いささか危惧している。1に少子化高齢化、2に駅前の大開発と大型チェーン店。これだけのいいの。

高齢化と中高年の独居が増える中、これからは駅前に人が住み、住宅街に店やサービスが入るなど、従来の都市計画と違う工夫のある街づくりがいる。

日本の人口は1900年の4380万以降50年で400万ずつ増え現在12600万。オリンピックの2020年以降は年100万ずつ減る。生産年齢人口（15〜64歳）は2000年がピークで以降減り続け、増えるのは前期高齢者の2倍いる後期高齢者。76歳は高齢でない？若い人が減ってはいるが東京は30代がまだいる。でも2040年には完全にアイスのコーン状で高齢が多い。

東京23区の人口は30年間で60万増えたが、30万は外国人（半分は中国）で、それで活力が保たれている面もある。居酒屋でもコンビニでも若い外国人が働いている。今後50歳以上人口は減らず、独居老女が増えるが、

ニーズは若い人に支えてもらわざるをえない。その30代も2030年には60歳。生産年齢人口に対する高齢人口（従属人口比率）が高いのは負担で、経済成長が鈍り地価が下がる。

東京の地価下落は、杉並足立武蔵野葛飾三鷹の順。マンション率が低い杉並は若い子連れが増えていない。これでは経済成長し難く消費に回らない。武蔵野市内も同じでGDPが減る。こんなこと予想もしていなかった。

市が財政破綻しないよう、若い人に住んで、働いて税を払い、子を産み育ててもらわねばならない。住みたなくても住まない、住めないのでは駄目なのだ。今までネックだった家賃が下がって来た（新しいマンションは別）。子育て期を戸建ての空き室に住まわせてくれないか。

65過ぎでも、女性も、働けるなら働いて税負担してもらおう。働かざるを得ない時代だ。子育て期の女性が働く。出来れば武蔵野市内で働ければよい。

吉祥寺は働く場所はいっぱいある。吉祥寺の魅力は住みながら働けること。しかし大型店は増やしても来外者相手だ。若い住民が増えないと高齢者を支えられない。若い住民、外国人住民を増やさざるを得ない。

住宅地にも時代のニーズに応える新しい要素が要るが、対策の一つがシェアハウスと考えている。東京には今1200棟あり1800人が住む。七年間で十倍に増えた。四年前は金のない人の住居イメージだったが、今は大変きれいな物か、古くて立派な家を改造した

物件がふえ、こうしたものを好む若者が多い。この東町にもリベットのシェアプロデュースで「多世代共住住宅」が出来た。個性的、エコノミーでエコロジー、楽しい、防犯・防災というメリットを30代の女性を感じ取った。高齢社会はこの4メリットが欲しい人々がいる。

住まないまでも食事は集まるなど事実上シェアする人やシェアハウスができた。吉祥寺はこれから空家が増え、アパート需要も減る。土地をさらに分譲するのはもったいない。オフィス、カフェ、託児所、庭や農園等、駅前までいかなくても需要が満たせる暮らし。地域内にコムビニ（コンビニエンスストア）をつくらう。コミセン活動もそうだが、そういうものを住宅地域に増やして行く必要がある。郊外住宅地の問題だと思っていたが、武蔵野市もそうなのだ。

そのモデルは… 時間の都合で、濃い内容を圧縮して話され三浦講師も不完全燃焼気味。私たちがもつと知りたい。あらためて「まち企画」でお話いただく機会をつくりたい。

下水道施設建設七月上旬には貯水槽部分完成。

粘性とともに保水力も相当なローム層は、掘り出す土がべたべたしてバケツから落ち難いし、水っぽさが残土受け入れ側から敬遠されます。

女子大通りの分水人孔工事は終了。六月3週には本体7ロット目下部や貯留池内部階段が出来上がり、貯

東町ニコース

◎五日市街道并当屋に四月末巣をかけた燕6月16日に4羽が巣立つ。二丁目を飛び交っていたそうです。本町の巣は宮巢放棄。17日18日又方巢の近くの電線に5羽。



下2羽が親。上に寄り添うヒナ3羽

◎四月14日開園した宮本小路公園は、芝やクローバーの種をまき養生中だった広場のロープを六月23日外しました。竹林は雨続きの六月、節約30本がグリーンとのみびました。一本掘られる。六月末泰山木の大輪の花。昼時にはお弁当を使う人が多いのがこの特色です。夕時はギターを弾く人、唄う人。本を読む人。犬のしつけ教室もあり犬の散歩仲間もよく見かけます。

◎四月7日入学式は桜も残り、温かい日。本宿小は入学児数が増え66名2クラスに。女子が10名多い。六年代表の新生歓迎の言葉が素晴らしく思わず会場から拍手が。第四小17名2クラス。二中は94名3クラス。100名を割りました。

◎基督教会前のカフェ「藍」八月末日閉店。

◎六月、中川板金隣にギャラリー「イロ」

◎アクリル向かいSOPA2階にパソコン教室

オアシス「25年九月末から」。

◎美容室「ミス、海老蟹釣りがカフエ跡に五月1日オープン」

◎鳥一2階に美容室「ビードロ」四月30日オープン。下北沢姉妹店年中無休。

◎女子大通り後藤歯科隣「美容室 dallaha」

で生活する私たちです。



26年度総会報告

四月十九日(土)



三浦展氏の講演後の26年度住民総会で、大栗和憲氏を議長に25年度活動報告、決算報告と26年度計画、予算案、運営委員及び監査の小峰ヒデ子・伊藤義則両氏が原案通り認められました。新運営委員に、浜岡哲・駒井和子・深田貴美子の三氏。協力員小林球子・高木宣子さん。

総会後の臨時運営委員会で互選の結果、代表小林宏氏、副代表山口智章、青木一郎・山路千代子・浅井信也の4氏、会計芋坂敬子・宮沢元英両氏が選任され、運営委員総勢40名で26年度の活動が始まりました。年間テーマ「安心して暮らすためのまちづくり」。九浦の家活性化プロジェクトチームが、昨年同様改善策を提案します。トイレ改修のための臨時休館があります。総会資料は、九浦の家窓口にあります。

平成25年度決算

■ 委託金の部

収入額	4,400,000
支出額	4,296,045
精算額	103,955

25年4月1日～26年3月31日

<収入>

■ 補助金の部

市補助金	1,987,000
繰越金	914,888
雑収入	846
計	915,734

事業費	アジアを知らう	97442	太極拳	10,000	町企画	11,737	
432,501	バス研修	46,455	囲碁入門	10,000	かるた大会	13,990	
	おもちゃつき	68,284	初級囲碁	8,409	地域活動費	25,000	
	子ども会	69,455	音楽会	41,729	落語会	30,000	
運営費	お茶	16,569	管外研修	5,000	つどい	22,100	
	サイエンス	35,080	バス研修	178,800	新年会	30,000	
	100号記念	95,155	研達研修	3,000	歓迎迎会	19,806	
	総会費用	27,348	七夕 他	4,440	スタンプラリー	118	
483,406	観覧会	34,100	研達茶菓	3,100	HPビルダー	8,790	
	お茶・麦茶	5,254	スベア健	7,896	門松	700	
294,056	有料ゴミ袋	10,000	ラック	4,360	ほうき	1,340	
	封筒	12,600	ラジカセ	8,730	テープクロス	8,736	
	事務用品	17,659	テープ	830	電池	1,803	
	玄関マット	34,965	台所用品	16,513	付属品	3,960	
	フタスリボン	3,480	トイレ紙	12,660	コピー用紙	44,089	
	プリンターインク	25,610	蛍光灯	1,471	地図	21,000	
	タップ	1,780	本	18,270	子供スリッパ	12,395	
	座布団洗濯	2,800	無線ラン	5,810	アルミ脚立	9,345	
	印刷製本費	九浦だより	366,660	インク・原紙	162,482	コピーカウンタ	36,318
	642,680	配布代	49,520	印刷機	151,620	コピーリース	163,800
印刷機保守		31,920	印刷売上△	234,840	コピー売上	△84,800	
雑誌購読	月刊誌	12,720					
通信交通費	ピンク電話	40,262	交通費	24,560			
	同電話売上	△660	切手葉書	23,360			
IT関連費	IT	50,610					
研達負担金	負担金	40,000					
修繕料	照明修理	3,150	蛍光灯交換	72,200			
	75,350						
備品費	パソコン	70,860	プリンター	16,000	間仕切衝立	12,675	
	99,535						
2,218,380	繰越	684,354					

アジアを知ろう台湾編5 五月10日

お話 酒井充子さん ドキュメンタリー映画 劇映画制作「台湾アイデンティティ」

「台湾に残る日本の記憶〜日本語世代から学んだこと」

台湾で蔡明亮監督の「愛情万歳」を見たのがきっかけで1998年から台湾に興味を持つ。ドキュメンタリー映画で台湾を伝えたい。

「80年代の侯孝賢」「悲情城市」には台湾の日本統治時代の終わりの混乱が描かれている。「80年代の侯孝賢」「悲情城市」には台湾の日本統治時代の終わりの混乱が描かれている。流暢な日本語で話しかけ日本の先生に会いたいという老人とあった。映像に撮ってみたいと、2009年には本格的に台湾に通い始める。日本語で聞き、何人かをビデオカメラで撮る。2009年文化庁から助成を受け、日本統治時代を振り返って5人の台湾の方に聞きとった映画をつくった。

身に付けた日本人としての作法、皇民化教育。しかし感じ取る日本人と台湾人の区別。戦後軍人恩給もない。戦闘機をつくるため800人もの台湾人が日本に連れてこられ、中島・三菱・名古屋などで働いた。帰国後それが役立って成功した...など。

日本が去った後の台湾はどうなったか。台湾から日本に引き揚げた(湾生人も含む)者約45万。日本にいた台湾人はそのまま日本に残った。1950年から38年間戒厳令が敷かれる。1987年戒厳令が解かれ、李登輝の時代。戦後の台湾を描いた「台湾アイデンティティ」。遺稿を収集して台湾と日本のつながりを探り映画化した「台湾人生」。

この日参加者50名。希望もあつたため、初秋に映画会を予定しています。吉祥寺図書館の集会室を交渉しましたが、叶わず九浦の家で上映。



NEWS JOURNAL

四月24日「東町ってどんなところ?」

三月末の「東町街並ウォッチング」の時の写真を手がかりに、郷土史家宮崎勇さんから聞いた吉祥寺東町の成り立ちと、文化人達の住まいや交流などについて、運営委員の原の報告。東町は建築ラッシュで、記憶が急速に失われていきます。

五月22日「自転車のルールを学ぼう」

市と武蔵野警察交通総務課の出前講座。ホール満員に。

六月27日「武蔵野の女性史について」

地味だけど内容が素晴らしい。先月号の加藤久祚氏夫人が聞き書きに出ています。

東コミ局
センターから
お知らせ
04.06.30

- ▼四月10日カラーコピー機が入りました。コンビニと競合せぬよう当面1枚50円
- ▼庭園灯の基部が腐食したため、2基新しい物を設置。
- ▼陶器リサイクルコーナーを閉鎖します。愛好者も多く、品物の回転もよかったです。盗犯が盗品をここに捨て、警察の事情聴取があったり、外置き屋根なしのため、風雨で綺麗な状態を保てないこと、除外品の土鍋や割れたガラス製品を置く人が後を絶たずゴミ置き場化したため、暫く休むことにしました。今までのご協力に感謝。
- ▼総会後一か月間、むさしの男女共同参画市民協議会作成の、武蔵野女性史パネル「武蔵野の女性の教育と労働」12枚を展示。関心を呼びました。武蔵野の女性は粘り強く向学心に燃え、強かった。
- ▼健康体操33名満席でスタート。
- ▼コミュニケーション来館者46名。
- ▼ホールの映写・投影スクリーンを、横長ワイドのものに替えました。
- ▼五月25日フリマ、いつもより少なめでしたが、天気も持ち、無事終了。
- ▼入門囲碁教室の復習用自主グループが、ついに「入門囲碁講座」を結成しました。
- ▼五月27日第4回吉祥寺東落語会で春風亭朝也さんが「元犬」と「唾の釣り」。
- ▼七月1日から一週間今年も七夕飾りの竹を用意し、皆さんに願いを描いてつるしてもらいます。
- ▼今年の盆踊りの九浦の家の担当は、金券売り場と缶ビールになります。
- ▼高校生のころから窓口担当だった藤井友海さん、周司智広さん就活で退任。代りに松尾峻君が入ります。